

製品概要

STRX-JXS-2022はSMPTE 2022に準拠したJPEG-XS圧縮対応の4ポートの映像受信ユニットです。

アプリケーション

- キャリアクラスのメディアネットワーク
- 映像素材伝送
- 放送局内・局間ネットワーク
- コンテンツ配信

特徴と利点

- (1枚のユニットで)最大4本の映像受信をサポート
- 3G/HD/SD-SDIおよびDVB-ASIインターフェース
- 光(SFP)または電気(BNC)の映像インターフェース
- 非圧縮伝送およびJPEG-XS圧縮伝送
- ETSI TR 101-290準拠のパフォーマンスモニタ
- 最大16チャンネルの非圧縮音声データ、アンシラリデータ、HDR/WCGデータの伝送
- SMPTE 2022-1/2 および 5/6準拠の packets フォーマット
- SMPTE 2022-7準拠の無瞬断切替
- SMPTE 2022対応製品との相互接続性を保証
- JPEG-XS圧縮による伝送帯域の抑制
- 超低遅延のJPEG-XS圧縮伝送

技術概要

- MD8000シリーズおよびMD8000-100Gに対応
- 3G-SDIおよびHD-SDIのJPEG-XS(ISO/IEC 21122)圧縮伝送および非圧縮伝送
- 4:2:2 10-bit 映像処理

対応装置(筐体)

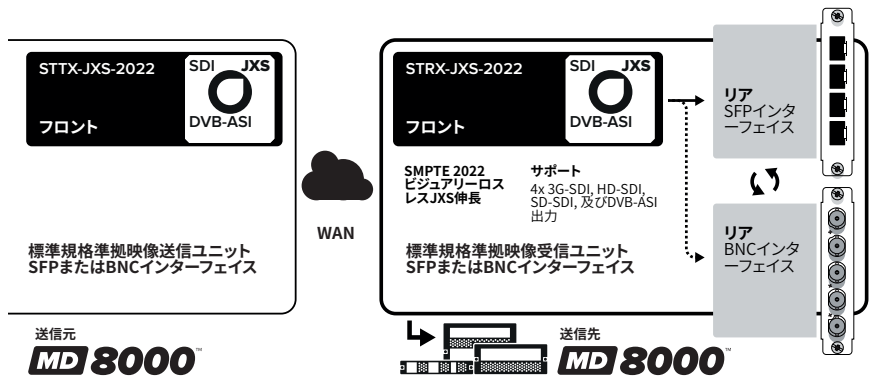
MD8000SX, MD8000, MD8000 EX, MD8000-100G

データシート

STRX-JXS-2022

4ポート 3G/HD/SD-SDI & DVB-ASI JPEG-XS伸長映像受信ユニット

STRX-JXS-2022は、SMPTE 2022に準拠した非圧縮およびJPEG-XS伸長の映像処理機能を備えた4ポートの映像受信ユニットです。SMPTE 2022規格は、IPネットワークで映像信号を伝送するためのカプセル化/非カプセル化の標準的な方法を規定したものです。このユニットとSTTX-JXS-2022ユニットを組み合わせることで、インタラクティブなリモートプロダクションなどのアプリケーションにおいて、非常に低い処理遅延で、貢献度の高い映像品質を実現し、かつ、伝送帯域幅を大幅に削減することで伝送コストを削減し、ネットワーク上でより多くのチャンネルを送信することができます。



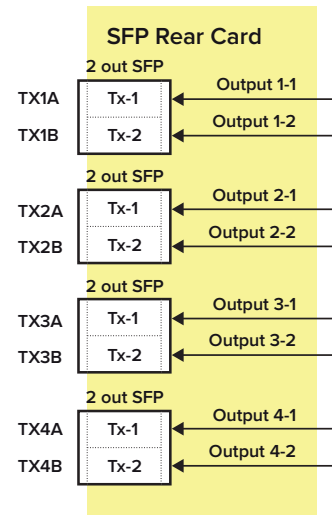
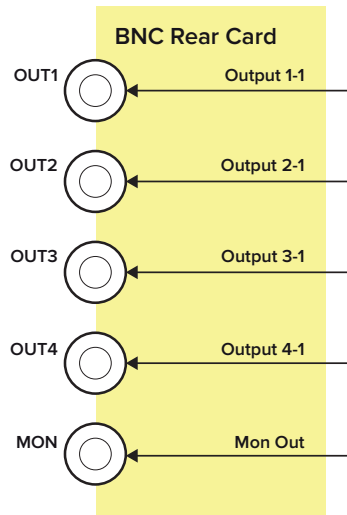
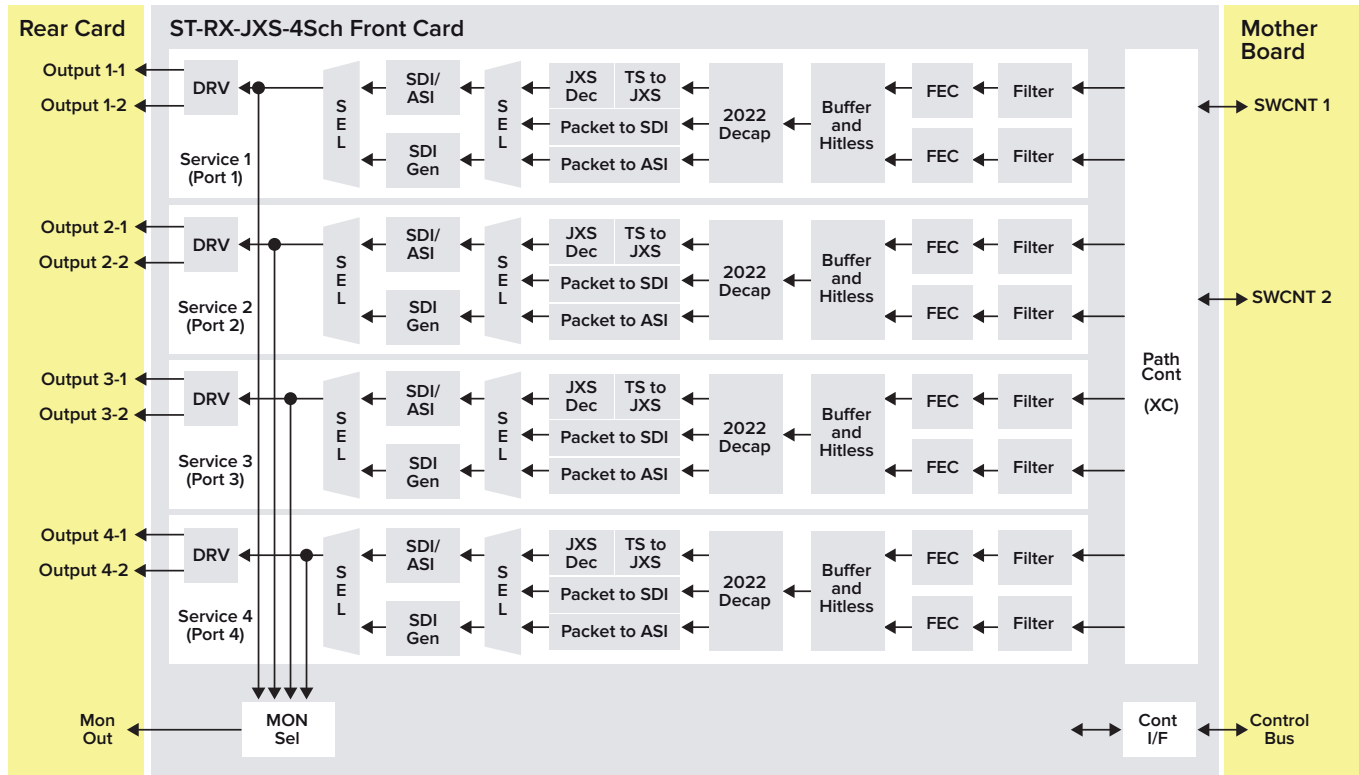
STRX-JXS-2022は、3G/HD/SD-SDI/DVB-ASIのマルチフォーマット非圧縮信号を4本同時に出力することができます。

また、誤り訂正(Forward Error Correction)やロスレス/無瞬断のパスプロテクションスイッチングにより、極めて堅牢な信号伝送を実現しています。

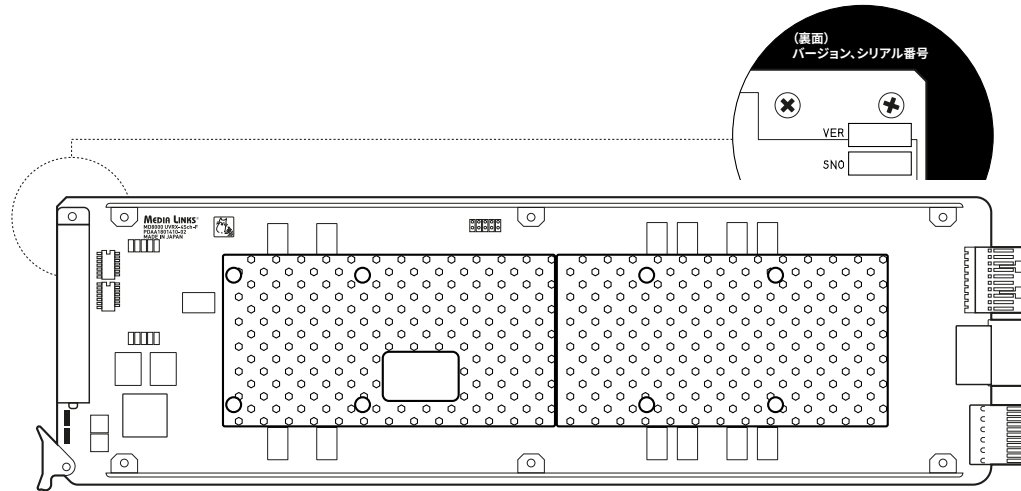
本ユニットは、ワイドエリアIPネットワークのどこで生成されたイーサネットストリームでも受信できます。JPEG-XSエンコーダーで圧縮された3GおよびHD-SDIパケットには、JPEG-XS伸張が適用されます。

DVB-ASI出力信号は、受信IPパケットからMPEG2TSを抽出し再構築します。ETSI TR 101-290のパフォーマンスモニタリングとリアルタイム分析は、各DVB-ASIストリームに対して行われます。

STRX-JXS-2022機能ブロック図



詳細仕様



製品ご購入例

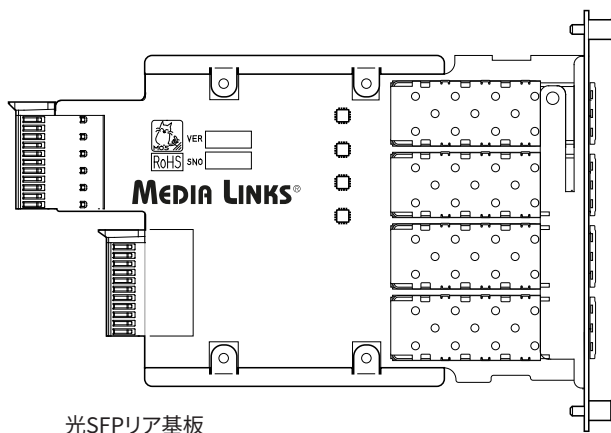
STRX-JXS-2022 - 4 Port Universal Video RX Module

3G-SDI, HD-SDI, SD-SDI及びDVB-ASI出力をサポートする標準規格準拠4ポート映像受信ユニット

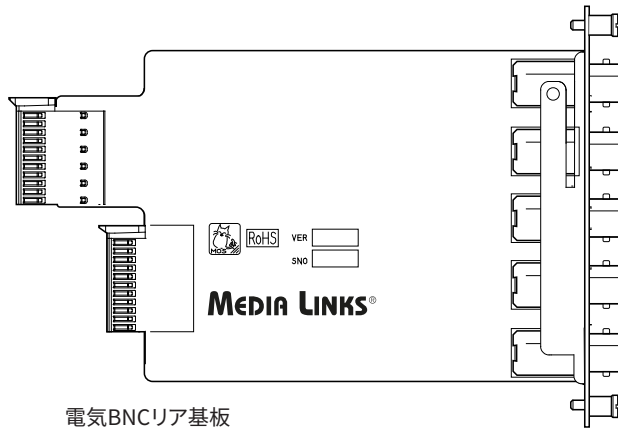
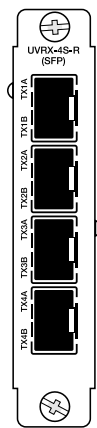
3G-SDI, HD-SDIのJPEG-XSデコーダー搭載

STRX-JXS-2022フロントユニット、及び、SFPリアユニット (SFPモジュールは含まません)
ご注文コード: MD8000-STRX-JXS-2022-O

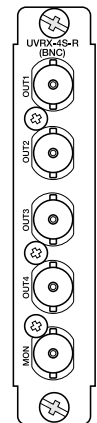
STRX-JXS-2022フロントユニット、及びBNCリアユニット
ご注文コード: MD8000-STRX-JXS-2022-C



光SFPリア基板



電気BNCリア基板



*基板は実サイズとは異なります。仕様は予告なく変更される可能性があります。

サービス機能

STRX-JXS-4Schの映像サービス仕様

項目	説明	備考
サービス数	4	
サポート出力信号	3G-SDI : 1080p/59.94, 1080p/50 HD-SDI : 1080i/59.94, 1080i/50, 720p/59.94, 720p/50 SD-SDI : 525i, 625i DVB-ASI : TSサイズ = 188Byte, 204Byte	TSレート : 最大 213Mbps
内蔵SDI信号源	障害時、及び、未使用時の 補正 出力として利用可能 サポート信号 : 3G-SDI, HD-SDI, SD-SDI 信号パターン : カラーバー、ブラック、グレー	映像フォーマット はサポート出力信号と同じです。3G-SDIは SDRのみです。
出力信号モニター (SDI)	SDIエラーステータス(CRCエラー、EDHエラー)	
出力信号モニター (DVB-ASI)	ETSI TR 101-290モニタ (Priority1 および 2) TSパケットレート計測	ETSI TR 101-290モニタはJPEG-XSの受信 TS に対しても適用可能
映像伝送モード	3G-SDI, HD-SDI : 非圧縮伝送 および JPEG-XS圧縮伝送 SD-SDI : 非圧縮伝送 DVB-ASI : TSパケット (Packed TS only)	
非カプセル化方式	3G-SDI, HD-SDI, SD-SDI: 非圧縮伝送モード, SMPTE2022-6準拠 3G-SDI, HD-SDI : JPEG-XS圧縮伝送モード, SMPTE2022-2 / VSF TR-07準拠 DVB-ASI : TSパケットモード (TS only), SMPTE 2022-2準拠	
誤り訂正 (FEC)	SMPTE 2022-1 / 5準拠 (レベルAのみ対応)	
伝送パケットフォーマット	MAC / VLAN / IPv4 / UDP / RTP	
パケット伝送モード	Blind Send (Static)のみ	
受信バッファ制御モード	Packet, Time, Auto	設定可能
受信バッファサイズ	65,535パケット (最大値)	
受信ストリーム切り替え	SMPTE 2022-7 準拠 (無瞬断切替)	自動 または 手動で切り替え
受信ストリーム数	最大 2グループ (Line1, Line2) 最大 2ストリーム / グループ (Video, FEC)	無瞬断切替対応のため、最大2グループまで受信可能
VPIDプロセッシング	出力モニタをサポート	

物理特性及び環境

寸法	フロント: 17 mm (W) * 113 mm (H) * 367 mm (D) リア: 19 mm (W) * 96 mm (H) * 126 mm (D)	重量	1 kg以下	消費電力	40 VA以下
ユニット構成	フロント+リアの2ユニット構成	適合規格	CE/CSA, NEBS Level 3		
必要な筐体スロット	フロントボードは1スロットの幅を使用 リアボードは1スロットの幅を使用	動作環境条件	温度 : 0 ~ 40 °C、湿度 : 20 ~ 80% (結露のないこと)		
		システム冗長モード	MD8000シリーズの全モードに対応 Single, Class B, Class C, Class J		

*仕様は予告なく変更になる可能性があります。

(株)メディアリンクス
〒212-0013
神奈川県川崎市幸区堀川町580-16
川崎テックセンター 18F
Phone: 044-589-3440
Fax: 044-589-3441
query@medialinks.co.jp

Media Links Americas
431-C Hayden Station Road
Windsor, CT 06095
USA
Phone: +1 860-206-9163
Fax: +1 860-206-9165
info@medialinks.com

Media Links EMEA
Suite 18242, PO Box 6945,
London W1A6US
UK
Phone: +44 207 096 9569
emea_info@medialinks.com

Media Links Australia
2-12 Rokeby Street,
Collingwood, VIC 3066,
Australia
Phone: +61 3-9017-0175
Fax: +61 3-8456-6339
info@medialinksaustralia.com.au

www.medialinks.com

MEDIA LINKS[®]
Media Defined Networking[®]